

# 杉並区議補選2018候補者アンケート



この質問票を作成するにあたり、メーリングリストやSNSを通じて子育て世帯にアンケートを実施しました。その際、「この質問に対して候補者の考えを聞きたい」という反響が多かった項目に「ココが聞きたい!」位

を付けております。具体的には、アンケート回答者のうち以下の方が「考えを聞きたい」と回答しました。

- ・①A-3 3歳以降の預け先について . . . 65%
- ・②過去の取り組みについて . . . 60%
- ・①A-4 反対運動への対応について . . . 55%
- ・①C-1 区立園の民営化について . . . 55%

## 保育園に関する今後の課題と計画について

### 〈保育の”量”について〉

【A-1】杉並区は今年4月、待機児童ゼロ達成を発表しました。現状の認可保育所の量についてあなたの評価はどちらですか。

<参考>

杉並区の平成30年4月の認可保育所等の利用申し込み状況では、申込者のうち入園可能な割合（以下、入園決定率(\*1)）は0歳児82%、1歳児62%、2歳児81%だった。

平成30年杉並区認可保育所等4月入所（一次申込時点）の申込状況

	申込児童数	入園可能数(*1)	入園決定率
0歳児	1191	975	82%
1歳児	1570	979	62%
2歳児	577	467	81%
3歳児	411	404	98%
4歳児	61	326	534%
5歳児	26	288	1108%

(\*1) 入園可能数÷申込児童数

出典：杉並区『平成30年4月 認可保育所等の利用申し込み状況（平成30年1月19日時点）』

認可保育所は現在 . . .  もう足りている  まだ足りていない

【A-2】認可保育所の新規開園の計画は必要だと思いますか。

認可保育所(0～5歳)の新規開園計画が . . .  必要  不要

<理由、具体策>

認可外保育所が働き方の多様性を支えている意味は大きい。しかし、園庭がない、保育内容が充実していない、などの声があるのも事実です。3歳の壁問題は、働く親の不安を助長させ、安心した就業の確保には繋がっていない。また、兄弟別園、認可保育所への転園希望など、待機児童ゼロの数字だけでは見えきれていない問題があるように思う。全ての子どもに平等に、保育の質を確保し、維持向上させるためには、認可保育所による継続した保育が必要なのではないかと考えています。

小規模保育所(0～2歳)の新規開園計画が . . .  必要  不要

<理由、具体策>

前述のとおり、小規模保育所の成せる意味は大きい。家庭的な雰囲気の中で、乳児期を過ごすことを望む保護者の中にはいるのではないのでしょうか。しかし、小規模保育所の新規開園を押し進めるのではなく、安定し継続した保育のために、改めて認可保育所の新規開園に力をいれたいと思っています。

**【A-3】小規模保育所、保育室、認証保育所等の2歳児までの年齢上限がある保育施設に通っている児童の保護者は、3歳児以降の預け先が確約されていないことに不安を抱いています。そのような児童に対する3歳児以降の受入れについて、具体案はありますか。**



<参考>

平成29年度以降、認可保育所等の利用申し込み状況（4月入所、1次申込時点）における3歳児クラスの入園決定率(\*1)は98%以上であり、本問題は顕在化していない。しかし詳細にみると、3歳児クラスの入園可能数の半数以上はその年度に新規開園した認可保育所（以下、新設園）のものであり、仮にその年度の新設園が0だった場合の3歳児の入園決定率は37%まで落ちる。

つまり現在の杉並区では、毎年新設園を多数開園することで小規模保育所等に通う児童の3歳児以降の受入れ先を確保している状況である。今後も多数の新設園を開園し続けることで3歳児の受入れ先を確保する想定なのか、もしくは3歳児以降のみを受入れ対象とした施設を作る想定なのか等、方針を知りたい。

※新設園による解決だと、小規模保育所等に通っている児童の3歳児以降の受入れの有無はその児童が3歳児になる年度の新設園の数に大きく左右される。保護者はその年度の新設園計画が確定するまでは現在利用している保育施設の卒園後の受入れ先が見つからず失職するかもしれない不安を抱え続けている。

杉並区認可保育所等4月入所（一次申込時点）の3歳児クラスの申込状況

	申込児童数	入園可能数（うち新設園(*3)の入園可能数)	入園決定率(*1)	新設園を除いた場合の入園決定率(*2)
平成30年	411	404 (250)	98%	37%
平成29年	425	489 (337)	115%	36%
平成28年	363	186 (59)	51%	34%

(\*1) 入園可能数÷申込児童数

(\*2) (入園可能数－新設園の入園可能数) ÷申込児童数

(\*3) 新設園は下記とした。

平成30年...杉並区『平成30年4月開設認可保育所及び地域型保育事業』に記載のある施設

平成29年...杉並区『平成29年4月開設した認可保育所等』に記載のある施設

平成28年...杉並区『平成28年度保育施設利用案内』P18「新規開園予定の私立認可保育所」に記載のある施設

出典

杉並区『平成30年4月 認可保育所等の利用申し込み状況（平成30年1月19日時点）』

杉並区『平成29年4月 認可保育所等の利用申し込み状況（平成29年1月20日時点）』

杉並区『平成28年4月 認可保育所等の利用申し込み状況（平成28年1月22日時点）』

具体案が・・・ある      ない

<具体策>

3歳児以降のみの受け入れ先を新設することが、現状を鑑みた問題解決ではあるかもしれませんが、認可保育園での受け入れ対応の整備、同時に幼稚園での一時預かりの拡充等も、対策の一つではあります。しかし、子ども子育て支援の長期展望の中では、やはり0～5歳の継続した保育が可能な認可保育所を新設し、0歳児での待機児童ゼロはもちろんのこと、3歳の壁と言われる問題についても解決していくべきだと思います。

人口推計を精査し、妊娠期からの継続した子育て支援の中でニーズ調査を十分に行い、保育を必要とする「量の見込み」を把握した上で、0歳児で新規認可保育所へ入園できる仕組みづくりを早急に見出す必要があります。

ただ、自宅保育を望む家庭や、保育への考え方はその家庭、時期によって変わるものでもあり

ます。潜在的保育事業を行政がどれだけ把握できるかは難しい問題だと考えています。子ども子育ての継続した支援を通し、またパブリックコメントや地域との連携の中で、保育のニーズに見合った施設整備を進めていきたいです。

**【A-4】 反対運動等により認可保育所の新規開園が中止や延期になるケースがあります。そうならないような具体策はありますか。**

具体案が・・・ ある       ない



<想定される原因、具体策>

大変難しい問題だと痛感しています。新規開園をするにあたり近隣の住民の方々に、一定の理解を得ることは必要だと考えています。

保育園で子供たちが過ごすうえで、声を出すことを控え押し黙って生活をするというようなことにはならないよう、子供の成長にとって何が大切なのか保育とは何かを、新規開園前に近隣の住民の方々に十分説明し、理解してもらうことが最大限求められます。

## 《保育の“質”について》

### 【B-1】認可保育所の人員配置基準や面積基準の緩和に賛成ですか、反対ですか。

<参考>

認可保育所には、保育士が担当する子どもの数や部屋の広さについて国が最低基準を定めていますが、保育の質を確保するために、多くの自治体と同様杉並区でも国の基準よりも厳しい基準を設けています。

近年、国が待機児童対策のために、独自の基準を持つ自治体に、国の基準まで基準緩和するように要請しています。(\*4)

(\*4)内閣府規制改革推進会議 平成29年11月29日『規制改革推進に関する第2次答申』  
P4 上乗せ基準の見直し

保育認可基準（保育士配置）

	国基準	杉並区
0歳	3人に1人	3人に1人
1歳	6人に1人	5人に1人
2歳	6人に1人	6人に1人
3歳	20人に1人	20人に1人
4, 5歳	30人に1人	30人に1人

保育認可基準（面積）

	国基準	杉並区
0歳	3.3平方メートル/1人	5.0平方メートル/1人
1歳	3.3平方メートル/1人	3.3平方メートル/1人
2歳以上	1.98平方メートル/1人	1.98平方メートル/1人

基準緩和する計画に・・・ 賛成       反対

<理由>

保育士、保育所が不足している今だからこそ、人員配置基準や面積基準の緩和を求められていると思っています。国の基準は、基準自体が決められてからすでに70年が経過しており、その間社会が豊になってもさらに広い居室面積にすることの検討は行われていません。杉並区の保護者が求める保育の質は、70年前に設定された国の基準とは異なるのではないのでしょうか。乳児期の成長著しい時期だからこそ、いまある保育の質を下げることに反対してきます。

### 【B-2】保育士の処遇改善や労働環境改善の計画はありますか？

<参考>

- 東京都の保育士の有効求人倍率は5倍を超えることもあり、各自治体間が奪い合う状況になっている。(\*6)
- 資格を保有していながら保育士として働いていない潜在保育士が多く存在する原因として、保育士は他業種に比べ給与水準が低いこと(\*7)、日々の業務負荷が高い(\*8)ことが指摘されている。

(\*6) [http://www.hoyokyo.or.jp/nursing\\_hyk/reference/27-2s6-13.pdf](http://www.hoyokyo.or.jp/nursing_hyk/reference/27-2s6-13.pdf) 「保育士の求人・求職の状況(東京都)」より

(\*7) 保育士の平均月額給与213,000円

全産業の平均月額給与324,400円

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?tclass=000001058843&cycle=0&layout=datalist>  
「1職種別きまって支給する現金給与額、所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額 所定内給与額の男女計より」

(\*8) [http://www.hoyokyo.or.jp/nursing\\_hyk/reference/27-2s6-13.pdf](http://www.hoyokyo.or.jp/nursing_hyk/reference/27-2s6-13.pdf) 「保育士における現在の職場の改善希望状況」より

処遇改善や労働環境改善が・・・ <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要
<p>&lt;理由、具体策&gt; 杉並区では、新卒保育士や潜在保育士の区内私立保育園等への就職を後押しするために保育従事職員宿舍借り上げ補助、保育従事職員資格取得支援の実施、就労支援につながるセミナーや講座等を開催していますが、当支援を継続的に実施し、保育施設等に勤務する保育資格を有しない職員の保育士資格の取得を支援、また潜在保育士の再就職を更に促していく必要があります。</p> <p>東京都が平成27年にスタートした子育て支援員の制度。保育士とは異なり、保護者の立場からは不安に感じることもあるかもしれませんが、このような子育て支援員に活躍してもらうことで、保育士不足を少しでも緩和するとともに、業務過多になりがちな保育士の負担を減らすことも一つの手ではないでしょうか。</p>

## 《その他》

【C-1】杉並区では区立保育園を民営化していく方針です。民営化に賛成ですか、反対ですか。

<参考>

- 昨秋に報告された「保育のあり方検討部会報告」では、平成18年度までに民営化した4園の経費を指定管理者制度導入前と平成27年度と比較すると、4園合計で単年度で2億7千万円減。
- 今年度までに計8園、平成36年度までに計16園の民営化を実施。
- 14年以上の経験をもつ保育士（常勤のみ）の割合は公立園40.4%、私立園20.2%（\*5）と倍の差があり、また潜在保育士は厚生労働省の調査によると全国におよそ76万人（平成27年10月時点）と言われている。
- 就業している保育士における現在の職場の改善希望としては、「給与・賞与等の改善」が6割（59.0%）で圧倒的に高く、次いで「職員数の増員」（40.4%）があがっている（\*5）。



(\*5)第3回保育士等確保対策検討会（平成27年12月4日）参考資料1より

民営化に・・・ <input type="checkbox"/> 賛成 <input type="checkbox"/> 反対
<p>&lt;理由&gt; 保育の質の維持、保育士の待遇、運営の安定性、そして杉並区の財政状況を考慮し、民営化を加速させることにもう一度立ち止まって考えていく必要があります。</p>

【C-2】今年度より豊島区、文京区、三鷹市がこれまで保護者持ち帰りとしていた使用済みおむつを保育所で処理するようになりました。このことについてご意見をお聞かせください。

<参考>

- 同じ認可でも、公立園は持ち帰り、私立園は持ち帰りなしの園が多い。
- 持ち帰りについては、次のような問題が指摘されている。
  - ・衛生面（保育所を媒体とした感染症拡張のリスク）
  - ・保護者への負担

使用済みおむつは・・・ <input checked="" type="checkbox"/> 保育所で処分すべき <input type="checkbox"/> 保護者が持ち帰るべき
<理由>

保育の質をあげ、衛生面を向上させるとともに、保育士がおむつを仕分けする負担も減ります。

### 《保育事業のあるべき姿・ビジョン》

【D-1】社会全体の課題（子育て支援や少子化対策、仕事と子育ての両立、働き方改革、女性活躍）との関わりにおいて、保育事業はどうあるべきかビジョンをお書きください。

<参考>杉並区の近年の保育トピック

- 保育定員確保に伴い保育関連の予算が増加している（22年度67億円→28年度約203億円：約3倍）（\*9）
- 保育園の選考基準に育休延長者を優遇する指数が導入された。
- 延長保育申請に雇用主の書面提出が義務化された。

(\*9)杉並区HP待機児童解消対策「ここでギモン 保育にばかりお金をかけていて大丈夫なの？」より

保育を子どもの権利として認めているヨーロッパの国々では、子どもを含めた家族が家庭で過ごす時間を大切にす権利も認められています。子どもを取り巻く保護者の「働き方」の問題は、個々人では到底解決できる問題ではなく、職場風土や経営の問題に深く根ざしており、官民一体となって取り組む課題であると考えます。

## 【D-2】子ども目線で保育事業はどうあるべきか、ビジョンをお書き下さい。

<参考>

保育所は(中略)その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設であり、入所する子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場でなければならない。(\*10)

(\*10) 厚生労働省『保育所保育指針』平成29年3月31日

生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場であることを認識し、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことを目標とした場であることを根底に、保育事業を推し進めていきます。

### ② 過去の待機児童問題への取り組み

今回の区長選よりも過去（2018年4月末まで）に、待機児童問題についてご自身が取り組んだ記録や、考えを発信した記事（SNS含む）等がありましたら、その履歴をURL等でご紹介ください。

随時SNSで更新をしています。  
<https://twitter.com/sekiguchi1991>



### ③ 自由記述

保育の量・質・その他に関して、書き足りないことやアピールしたい計画がありましたらお書きください。また、保育以外の子育てに関する計画があればお書きください。（学童、子育て応援券等）

保育をめぐる状況は平成27年4月に子ども、子育て支援新制度が施行され、0～2歳児を中心とした保育所利用児童数が増加したことを受けて、新保育所保育指針では、保護者に対する支援にとどまらず、子育て支援を実施することが重要であるとされてきました。新保育所保育指針では、PDCAサイクルの徹底していくうえで、事前調査（保育に必要な情報収集とアセスメント）の重要性を指摘しています。また保育において、「子供の生命の保持および情緒の安定を図るために保育者が行う援助や関わり」といった養護の側面と「子供が健やかに成長し、その活動が豊かに展開されるための発達の援助」といった教育の両側面において一体的に展開されることが重要であるとされている中で、子どもを一個の主体として尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ、乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくように援助する場としての機能を強化していくことが必要だと考えています。

行政と保育園が保護者と一緒に子どもの未来をつくる場所として機能するよう、保護者の悩み・希望・気持ち等を受け止め、相手の立場にたって考え、支援することが求められていると考えます。

ご協力誠にありがとうございました。  
保育園ふやし隊@杉並